

## 目的

- ハザードマップで提供する「洪水浸水想定区域」や「避難所」の情報をわかりやすく提供する

## 背景・課題

- 従来のハザードマップにより各種情報は提供していたが、平面図だけではイメージしづらい面もあり、町民への分かりやすい情報発信が必要

## 事業のポイント



- ✓ 上空からドローンで撮影した360°パノラマ画像を活用し、浸水想定や避難所の位置をわかりやすくイメージできる

## 期待される効果



- ✓ ハザードマップの理解促進
- ✓ 地域の施設情報などもあわせて提供し、町外からの来訪者にも情報発信

## 推進体制



新十津川町  
(各種調整、情報提供)  
フェイス・ワン株式会社  
(空撮、コンテンツ作成)

## 概要

- ✓ フェイス・ワン株式会社は、ドローンを活用した特殊な撮影・加工技法により高解像度の360°パノラマVRツアーを実現（上下左右の視点移動やズームが可能）。その技術を活用し、**ハザードマップの情報を発信する新十津川町パノラマツアーを作成**（洪水浸水想定区域を色づけして重ね合わせるとともに、ポップアップで避難所等を表示）。
- ✓ 立体的に表示されることで、水害の危険度や避難経路のイメージをつかみやすく、住民が身近にハザードマップに触れることができる。
- ✓ 避難情報だけでなく、観光情報などもマップ上に表示することができ、**多機能なPRツールとしての展開も可能**（新十津川町のマップでも、動画や写真データの埋め込み、スタジアム座席からの視点表示などを実装）。

